

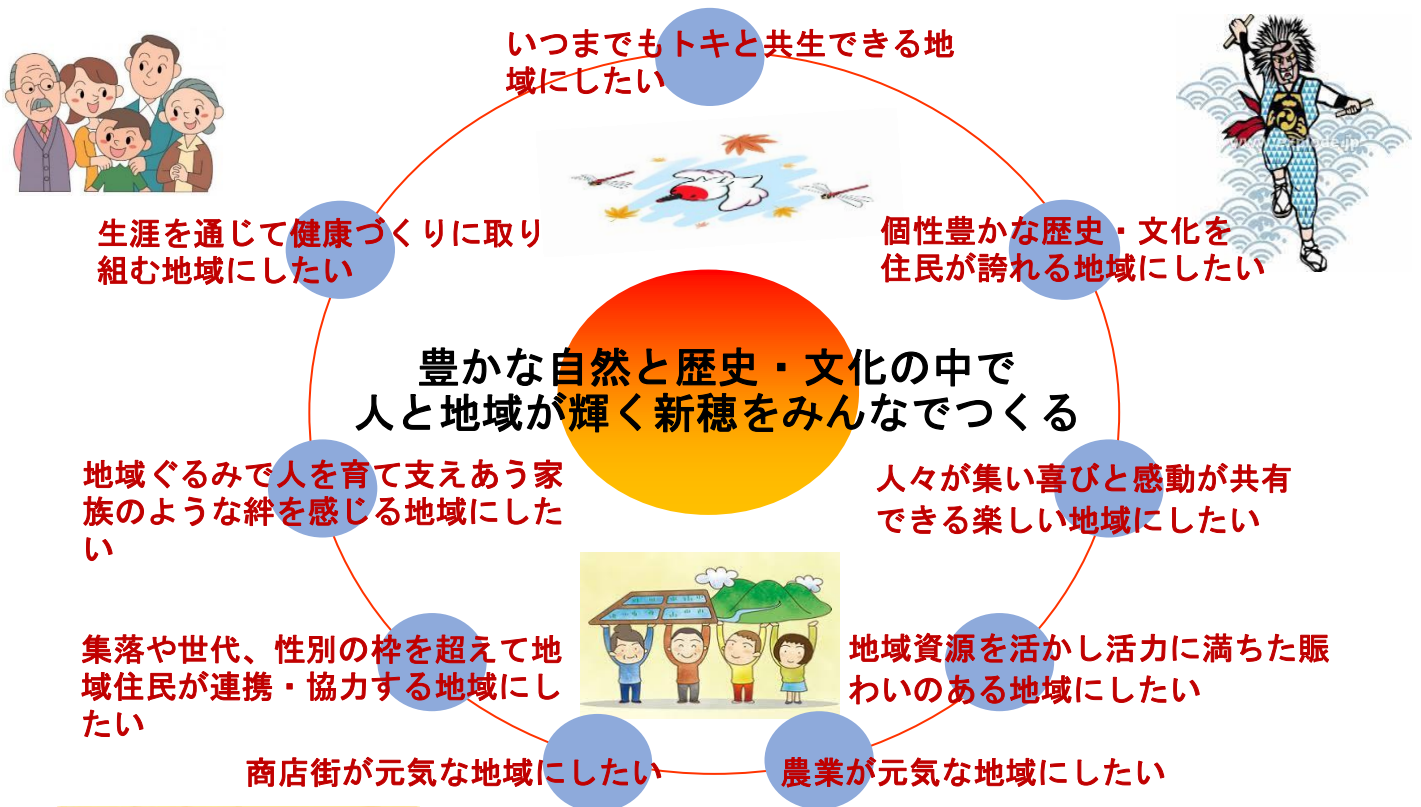


発行：新穂行政サービスセンター
お問合せ先：新穂行政サービスセンター
電話0259-22-3111
(担当：土屋(一)、川上、土屋(嘉))

第2回新穂地域づくり懇談会では、「新穂地区 地域づくりの理念(案)」について、確認作業を行いました。

新穂地区 地域づくりの理念(案)

「新穂地区 地域づくりの理念(案)」は、第1回懇談会で出された74件の意見(新穂地区をどのような地域にしたいか)を大きく集約して9つの項目にまとめて作成したものです。



参加者の主な意見

- ・9つのサブテーマは多い。もっと集約したほうが良い。
- ・外の人を新穂に引っ張り寄せるテーマが必要。「住みたい新穂に」等。
- ・商店街はあるが、商業、工業がない。物を作れば活性化する。
- ・伝統芸能を広める地域にしたい。情報発信することで後継者確保につながる。
- ・理念に「希望の持てる」という言葉を入れてほしい。
- ・地域づくりが、佐渡の産業構造と雇用問題の解決に繋がるよう活動したい。

地域づくりの理念は、皆さんからの意見を参考に見直しを行い、次回懇談会で再検討することになりました。



理念の確認作業に続き、地域の好ましい現状や気になる現状、さらには地域づくりの組織に望むことについて話し合い、119件の意見が出されました。

好ましい現状

- ・トキやホタルがいる(自然資源が豊富)
- ・小学生が「トキガイド」をやっている
- ・水田風景がとてもきれい
- ・水道の水がおいしい
- ・地域社会(集落)のまとまりが維持されている
- ・祖父母が子どもの面倒をみれる家が多い
- ・子供の教育(あいさつ運動)が良い
- ・嫁に行くなら新穂へ行きたいと思っていた
- ・米がとてもおいしい
- ・農業の基盤(農地・人・組織)が比較的しっかりしている
- ・地域全体のイベント(スポーツ・芸能等)が継続している
- ・800年続く湯上温泉がある
- ・鬼太鼓等の伝統芸能が継承されている

気になる現状

- ・子どものいない集落が増えている
- ・子どもたちが公園等で遊んでいる姿を見かけない
- ・空き家が多くなり家のまわりや畑が荒れている
- ・親子の遊び場がない
- ・隣近所のかかわりが薄くなっている
- ・集落役員になる人が少なく何回もやらざるを得ない
- ・後継者がいなく農業に将来はない
- ・若者の働き口がない
- ・商店が少なく高齢者が買い物できない
- ・集落を超えた子どものイベントが少ない
- ・イベント維持のためには人手が不足している
- ・湯上温泉の今後の動向が心配
- ・他地域と変わらないアピールしか出来ていない
- ・郷土芸能の継承が心配
- ・食と健康に対する情報が少ない

地域づくり組織に望むこと

- ・各集落の運営や行事活動を全体に情報発信してほしい
- ・活力の発信となって行動できる組織であって欲しい(行政主体ではなく)
- ・文化、芸能、資源を生かす取り組みをしてほしい
- ・市当局へ地域の意見をまとめ積極的に要望して欲しい
- ・農業をしたい若者を都会から呼び込み農業を活性化してほしい など

新穂地域の将来像や行動目標等を考えるための貴重なご意見となります。



人が人を呼び込む!



懇談会で地域づくりを一緒に考えてみませんか？

◎開催日時

第4回 28年11月24日(木) 19:00～ 「将来像を実現するための具体策について」

第5回 28年12月15日(木) 19:00～ 「地域づくり組織の創設について」

◎参加対象者：新穂地区にお住まいの方 あるいは 新穂地区でお仕事をされている方

◎会場：新穂行政サービスセンター 2階 学習室

参加されたい方、ご興味をお持ちになられた方は、新穂行政サービスセンターまでご連絡ください。